

平成27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	としよぼらんていあ	地域名	加子母	地区		
	図書ボランティアひなたぼっこ	会員数	10	人		
ふりがな 代表者名	うめたよしみ	延べ 参加人数 内(会員数)	185人(50人)			
	梅田好美		小学校読み聞かせ15人(20人)・移動図書90人((20人)・講演会80人(10人)			
事業名	ほん*とのひろば					
総事業費 内(補助金額)	150,217 (150,000 円)		実施期間 平成27年5月26日から 平成28年2月 5日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	本との出会いを増やすことによって、地区の人々の読書活動を応援する。 加子母図書室の資料、利用方法を紹介し利用率を高める。					
	具体的な活動内容					
	村上康成さん講演会・加子母図書室での資料の展示紹介(毎月のおすすめと村上康成さんコーナー)・小学校読み聞かせ・コミュニティーセンターへの移動図書・本の整理等作業・ミーティング・えほんジャンボリー実行委員会への参加・研修等					
	主な活動の流れ					
			8/9絵本ジャンボリー		12/5村上康成 氏講演会	
		毎月第2火曜日	小学校読み聞かせ	11/14絵本道場		
		月1回	のコミュニティーセンターへの移動図書			
		4月	6月	8月	11月	12月
						2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
絵本作家の村上康成さんの講演会を開催することができ、多くの方に興味をもっていただくことができました。ご自身の絵本の読み聞かせなどしていただき、作家さんの迫力を感じられました。こちらの力量の不足のためにいろいろな方にご迷惑をおかけしましたが、大変勉強になりました。またお呼び出来れば、と思っています。乳幼児親子への移動図書は3年目になりました。要望のあった小学校、中学校、お年寄りの方向への移動図書を検討しましたが、今の体制では手が足りず、実施までには至りませんでした。						
今後の展開 (自立に向けた活動)						
加子母図書室の充実を第一に考えながら、自分たちもスキルアップをはかり、本、読書に関する楽しいイベント等を提供していきたいと思っております。地域の図書室の充実は地域活性にも繋がります。ボランティアとしても盛り上げていきたいと思っておりますが、やはり公の図書館サービスには公の力が必要なので、専属の職員をおいてもらえること、また活動費の補助などしていただけるようお願いしていきたいと思っております。						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



移動図書
コミュニティーセンター



画家本間きよこさんが絵本コーナーにこんな素敵な
絵を描いてくださいました。



中津川えほんジャンボリー
では、加子母の魅力を発信
しました。



村上康成さん絵本&トーク

平成27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	どあいしぜんがっこう どあい自然学校		地域名	加子母	地区		
ふりがな 代表者名	たぐち たつや 田口 達也		会員数	20 人			
事業名	どあい自然学校		延べ 参加人数 内(会員数)	118人(16人)			
総事業費 内(補助金額)	224,507 (200,000 円)		実施期間	平成27年5月26日から 平成28年1月31日まで			
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	④⑨⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	<p>便利な生活の中で、自然とのふれあいが減り、体験が不足しがちな子供たちの”どあい自然学校”での体験を通じて「生きる力」を養う。</p>						
	具体的な活動内容						
	<p>野外体験を通して自分の手と頭を使って行う体験学習。 林道散策ツアーの開催。 子供会の自然学校の開催。</p>						
	主な活動の流れ						
		野営場整備 教材づくり	新緑ツアー 紅葉ツアー下見	自然学校開校	ネイチャーゲーム リーダー研修 紅葉ツアー(雨天中止)	次年度計画	
		4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>新緑ツアーはPRと内容がうまく伝わらず参加者が少なかった。 子供会の自然体験は評判も良く成功裏に終えることが出来たが多数のスタッフが必要となり次年度はスタッフの確保が問題である。 紅葉ツアーは準備に4か月を要したが雨天中止となった。企画面で次回の参考となった。</p>							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
<p>子供会へのPRを効率よく行い次年度は参加者を増やしていきたい。</p>							



新緑ツアー(しでの木遊歩道)



体験学習の検討会と伐採作業



切り出した竹で”MY箸”づくり



メニューは”竹筒ハンバーグ”

===主な活動状況===

- ・新緑ツアー(林道散策)
- ・体験学習の下見検討会
- ・子供会体験学習
- ・秋のイベント(紅葉ツアー)下見
 など



紅葉ツアー検討会



”釜戸ごはん”は、火起こしから・・・



待望の水遊び、お父さんも童心に・・・

平成27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	じいばあず じいばあず		地域名	付知 地区	
			会員数	8 人	
ふりがな 代表者名	たぐち いずみ 田口 泉		延べ 参加人数 内(会員数)	259人(259 人)	
				企画会議6+6+6+6+5=29人 第1回～第10回糎作り 平均23名×10回=230人	
事業名	地元産の豆、米を使って、味噌、甘酒、地だまり作り		実施期間	平成27年6月16日から 平成28年3月14日まで	
総事業費 内(補助金額)	426,937円 (150,000円)				
事業分類	番号	③		活動分野	番号 ④・⑦・⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的					
<p>地元産で採れた大豆・米を使って地味噌や地だまり等を作り、付知の味噌作りで地域活性化を図る。 味噌作りを通じて仲間との絆を深めていく。 付知の麴屋としての機能を果たせることを目指しての麴作り。</p>					
具体的な活動内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい糎もろに引っ越した。 ・備品の不足分の購入(ろじ、ガスバーナー)。 ・地域のスーパーから米麴の注文を受け販売。 ・じいばあずの活動を理解してもらった上で米糎と味噌麴販売。 ・付知町新年会会場にて地だまりのすまし汁を振舞う。 ・10回の麴作りを行う。 					
主な活動の流れ					
事業内容	第1回会議		銀座マルシェ会場にて味噌汁振舞い		
	がんサポ申請書提出について		各自で糎製品作成		
	親睦会 会議	新糎室のお祓い 会議	米糎作り・販売	味噌麴の販売	
	会議	会議	米麴作り・販売	米・麦・豆麴作成・味噌の仕込み	
4月	7月	9月	10月	11月	12月 1月 2月 3月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
<ul style="list-style-type: none"> ・麴仕込み1工程の蒸時間、蒸らし時間について確信が持てた。 ・糎菌にも多種あり、胞子の緑色のもの白いもの、甘酒専用のものなどがあることがわかり、取り寄せて使用してみた。 ・麴作りの活動では、労務費を賄うまでには至らなかったが、次年度からは、そのことも考慮しながら活動する。 ・地味噌を少量ではあったが、販売することができた。 ・味噌用の麴の販売も行った。・味噌の販売に向けて保健所にて指導を受けた。 					
今後の展開 (自立に向けた活動)					
<ul style="list-style-type: none"> ・糎作りの技術と作業工程は回を重ねるごとに、奥が深いことが解り、今後も引き続き作業の効率化と技術の習得に努め、その技術を継承していきたい。 ・イベント等に参加し、地味噌で作った味噌汁や甘酒などを無料配布しながら、団体の活動と自分たちで作った味噌をPRし、麴作りや味噌作り、地味噌の本当の味を地域の人に知ってもらおう。 ・麴と地味噌の販売に向けての活動をすすめてゆく。 ・さらに活動に興味をもってもらうことで、地域の仲間を増やしていく。 					

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

拠点を移動し、お祓いをしました。



じいばあずのマークとのぼりが出来上がりました。

8ヶ月かき混ぜて寝かせた味噌は、桶の真ん中にさらし布をかぶせた「す」を立てて地だまりを濾しとります。



販売用の味噌・米糨です。

真っ白な米糨が出来上がりました。



平成 27 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	つけちがわやんぐあゆ釣りすくーるじっこういいんかい		地域名	福岡	地区	
	付知川ヤングあゆ釣りスクール実行委員会		会員数	10	人	
ふりがな 代表者名	おおやま やすひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	305 人(20 人)		
	大山 安彦			・付知川ヤングあゆ釣りスクール 生徒21名、講師14名、会員10名 ・ます釣り大会 参加者約250名、会員10名		
事業名	付知川ヤングあゆ釣りスクール		実施期間	平成 27 年 5 月 26 日から 平成 28 年 2 月 4 日まで		
総事業費 内(補助金額)	230,420 円	(180,000 円)				
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		③
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	大自然の中で活動することが少なくなった子どもたちに、あゆ釣り等の魚釣りを通して、仲間作りや大自然の醍醐味を感じてもらうことで、地元の自然を愛し大切にすることを育んでいく。					
	具体的な活動内容					
	・実行委員会の開催 ・7月28日(火)付知川ヤングあゆ釣りスクール実施(生徒21名) ・スクール終了後、付知川の清掃活動を実施 ・8月9日(日)ふくおかふるさと祭りに合わせます釣り大会を実施(約260名参加)					
	主な活動の流れ					
		実行委員会	生徒募集			
			ヤングあゆ釣りスクール	ます釣り大会	反省会	反省会
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)					
	昨年に引続き参加した子どもからは、より実践的な疑問が出されるなど、あゆ釣りの技術習得に意欲が見られ、魚が釣れた時の達成感や自然の醍醐味を感じることができ、スクール後には、周辺のゴミ拾いを行うことで、自然の大切さを学ぶことができた。 また、より気軽に付知川に親しんでもらうため、ふるさとまつりにあわせます釣り大会を開催し、多くの方に付知川の素晴らしさを感じてもらうことができた。					
今後の展開(自立に向けた活動)						
地域の方々とも連携し、付知川の自然を生かした子どもたちの育成や自然の尊さを学べる活動を継続していく。 関係団体や企業からの協力を今後も継続・拡大していけるよう、魅力ある活動を行っていく。 子どもたちがあゆ釣り名人となり、次の世代に伝えていく、そんな流れを作って行きたい。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



付知川ヤングあゆ釣りスクール 講師・生徒記念写真



滑り止めの「わらじ」を装着



講師の説明を熱心に聞く生徒



上手く釣る事ができるかな？



たくさんのアユが釣れました



講師から終了証を受け取りました



まず釣り大会の様子

ふりがな 団体名	くみあい		地域名	蛭川		地区
	わくわく組合		会員数			8人
ふりがな 代表者名	しづ はるみ		延べ 参加人数 内(会員数)	247人(41人)		
	志津 晴巳					
事業名	コミュニティ広場づくりと 交流イベント開催					
総事業費 内(補助金額)	197,814円 (187,000円)		実施期間	平成27年7月27日から 平成28年3月20日まで		
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号		⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
蛭川の人や自然を活かし、みんなでわくわくする事を考え、実行しながら、美しく暮らせる地域にしてい くことを目的として「わくわく組合」を発足しました。 人・土地・コミュニティの空洞化が進む蛭川の地域を、改めて見つめ直し、コミュニティの場づくりや交 流イベント事業によって美しく、地に足の着いた暮らしができる地域づくりを行っていきます。						
具体的な活動内容						
①コミュニティ広場(わくわく広場)の開設・運営 ②交流イベント開催 ③空き家バンク ④情報発信(情報誌、ホームページ)						
事業 内容	主な活動の流れ					
			△通信発行#1 聞き書き△		HP開設△ 通信#2△ △地元学#1 地元学#2△ △森作り △かまど作り △見学会	
	← 通年適時 空き家探し →		オーロラ上映△	△降りてゆく		△民映研
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
計画したコミュニティ広場の開設は、対象施設が見つからず進まなかった。 聞き書き、地元学は地域の文化継承手段として有効であり、成果として冊子を残すことができた。 地元学は引き受けて頂く地域の方の調整に苦労した。 交流イベントは、予定外のイベントも行い、6回実施できた。 空き家探しは、ニーズ7件、調査した候補物件は16件。マッチングした物件3件となった。 基本的に人づてによる調査のため効率が悪く、行政も連携して仕組みとして運営できるといい。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
地元で生まれ育った組合員を増やして、地域活性化の雰囲気を広げていきたい。 そのために、地域の特性を生かしたイベントや地元学の継続実施や、ハード面では初年度できなかった憩いの場づくり、さらにSNSを使った情報発信を行っていきたい。 また、教育・福祉に関する生活支援や、野菜・木材などを使ったスモールビジネスなどを事業化し、地 域内の経済循環を図っていきたい。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



地元学(フィールドワーク)



地元学(まとめ・発表)



愛農かまど作り



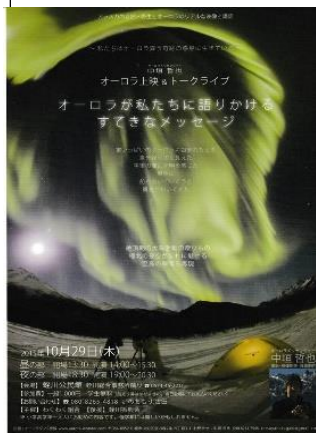
映画「降りてゆく生き方」



聞き書き



森作り&ピザ作り



主なチラシ

平成27年度 がんばる地域サポート事業 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ひろかわ あいちがい	地域名	蛭川 地区		
	蛭川 ママさん朝市会	会員数	12人		
ふりがな 代表者名		延べ 参加人数 内(会員数)	500人(28人)		
	玉谷 ハ重子				
事業名	・てづくりひろかわ朝市 ・夏祭り イベント				
総事業費 内(補助金額)	169,063 円 (94,000 円)	実施期間	平成 27年 5月 19日から 平成 28年 3月 日まで		
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業					
事業 内容	事業の目的				
	てづくりのものを通して、世代を超えた地域の交流と 蛭川のよさを知らせてもらうこと。 たくさんの人に				
	具体的な活動内容				
	年に3回のイベント「てづくりひろかわ朝市」を開催する。 振興会の行事にできる所で参加する。				
	主な活動の流れ				
イベント準備	イベント準備	振興会	イベント準備	反省会	イベント準備
5/17 第4回 朝市開催	7/2 第5回 朝市開催	夏祭りに 参加	11/9 第6回 朝市開催		(年間計画)
4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
イベントも少しずつ定着し、蛭川外の人にもたくさん来ていただけるよう なりました。蛭川の人達だけでなく定着の野菜がなかなか売れにくい。 広い年齢層の人に来てもらいたい、なかなか年配の人に来てもらえない					
今後の展開(自立に向けた活動)					
イベントの定着(年3回) 振興会や地域の人と協力してイベントを作りあげる。 (ひろかわご祭りや夏祭り参加、紅岩山荘の活用)					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

野菜があまりたくさんとれない時期でしたが、なんとか出してもらえました。山菜などがなりました。



飲食コーナーの様子

朝市では、毎回100円で、ポップコーンを売っています。



振興会の方も出店に参加してくださり、つながりができました。

朝市イベントでは、マイバック作りを体験できるコーナーを作りました。



急でしたが、大道芸のブンブクさんが朝市でパフォーマンスをしてくださることになり、会場も盛り上がりました。

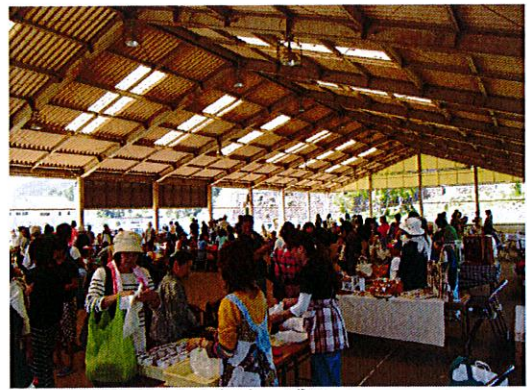
この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

ふりがな 団体名	くらぶ やげん クラブ「葉研」	地域名	蛭川 地区			
		会員数	12 人			
ふりがな 代表者名	どいれいじ 土井鈴治	延べ 参加人数 内(会員数)	186 人(54 人)			
事業名	一色川の環境保全と森林資源の活用		準備、打合せ・11回45人(24人)各テナント出店・5回26人(12人) 整備事業・3回33人(10人) 交流会事業・1回82人(8人)			
総事業費 内(補助金額)	204.635 円 (93.000 円)	実施期間	平成27年5月20日から 平成28年1月25日まで			
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	③⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	3年間一貫した目的で子どもたちに、遊びを学習しながら大切な地域の自然環境をつなげる。一色地区の葉研山を源流とする一色川を保全できるよう地域の人々が積極的に地域の行事、イベントなどに参加しながら、三世代間の交流を図るとともに、思い出作りをし、地域に愛着を持ってもらう。又、社会に出て蛭川地域を外から捉え、自分達が生活していた地域を自分達で住みやすく、守る意識を持って、蛭川に戻り地域を元気にする環境づくりを実施する。					
	具体的な活動内容					
	6月のひとつばたご祭り、蛭川ママさん朝市、一色川環境整備。8月のメインテーマである三世代交流会この時は地域の先輩方の協力に感謝、夏祭り。9月蛭川ママさん朝市 遊歩道ルート決定 三角点及び遊歩道のルート表示板製作、設置に取掛かる。11月はMAIKA祭と蛭川ママさん朝市、蛭川ママさんの手づくり感 集客は群を抜くものがある。一色地区での行事、イベントは6月に一色川の環境整備、8月の三世代間交流、このイベントには隣区の一之瀬区、両区の社会福祉協議委員とも連携し四世代の交流が出来、アユつかみ大会では子どもたちと一緒に川掃除から始まり、鮎が逃げないように石積みをしアユ焼きは火起こしから始め竹串つくりでナタの扱い方を経験をした。年明け1月はどんと焼き どんとの製作も先輩方の協力で作業した。					
	主な活動の流れ					
		4月	6月	8月	10月	12月
		*ひとつばたご祭り *蛭川ママさん *一色川環境整備	*遊歩道ルート開発 *蛭川ママさん *テナント出店(MAIKA祭) *世代間交流会	*左儀長 *蛭川ママさん *テナント出店(夏祭り・盆踊り)		
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)						
メイン事業の三世代間交流、環境整備 各イベント出店と地域のみなさん、先輩方が前年以上に好意的に協力してくれた事で私たちの活動、取組みが理解されつつあるように感じた。継続は力なり だが息の長い事業ほど同じ事を繰り返すだけでは目的意識が薄れ活性化が推進できない危惧も同時に感じた。地域の意見を聞き問題点を整理し解決する手順も地域の皆さんと協力し早めの検討に取組む。本年はコストを抑える目的で保健所の営業許可[1回限の申請で2000円 年に5回申請]を5年間有効の通年申請[16000円]にしたが許可が下りてから毎年1~2回ほどの講習を[講習料1回3000円程]受けなければならず結果的に5年間で講習料だけで総額3万円程になりコスト削減は気持ちのみで空振だ						
今後の展開 (自立に向けた活動)						
少しづつだが、木工製品 スルメの特産品も浸透して、活動費用に補填できるようになった。とは言えまだ完全な手弁当の活動。これからは今以上に他団体との交流、連携をさらに深め個々の団体から[オール一色地区 オール蛭川]としての地域づくりを推進する。少子化と言われてますが、逆の現象もあり知識、技術経験豊富で時間の余裕もある先輩方が地域におられます、その方たちに協力を呼びかけ今まで培ってきたノウハウを発揮できるようにし、やらされるのではなく自分たちの地域は自分たちで守る 方向へと舵取りをしその方たちの協力を仰ぎながら資金を得る事業展開に取組む。						

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



ひとつばたご祭



蛭川ママさん朝市 盛況



三世代間交流会



真剣



薬研山三角点
目立つ表示板が設置されます

MAIKA祭り

ふりがな 団体名	ひるかわげんきむら ひるかわ元気村	地域名	蛭川	地区		
ふりがな 代表者名	おだ ほづみ 小田 保津美	会員数	12	人		
事業名	がんばる地域サポート事業	延べ 参加人数 内(会員数)	参加者: 70 人(180 人) ※主催イベント:「視察報告会」及び「自然栽培座談会」参加者 (各種作業等への会員延べ参加人数) ※出店イベント等への来場者数は不明			
総事業費 内(補助金額)	450,000 円 (126,000 円)	実施期間	平成 27 年 5 月 19 日から 平成 28 年 3 月 25 日まで			
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	③ ④ ⑤ ⑦ ⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親履に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<ul style="list-style-type: none"> ●蛭川地域の住民・土地・流通環境の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・蛭川在住者(高齢者等)の生甲斐・コミュニケーションの向上 ・蛭川産農産物・加工品等のブランド化、無農薬・無肥料・自然栽培の理解者拡大と推進 ・地域の遊休地等の利活用 ・人口増(ターン・Uターン支援・促進、バーチャル村民登録によるひるかわファンの拡大) ・・・「人にやさしい 地球にやさしい 無農薬・自然栽培の里 “ひるかわ”」の推進・PR ... 						
具体的な活動内容						
<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全な農作物「自然栽培」の推進による地域イメージの構築と生産品のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ①無農薬による農作物の栽培と加工品の販売 ⇒ ひるかわ元気村「茹で落花生」「自家製味噌」「ピリ辛味噌」等 ②地域イベントへの出店等による加工品販売と活動のPR⇒ MAIKA祭、歌舞伎、菓子祭り、元旦マラソン等 ③他の団体・個人へ落花生栽培を拡大(生産委託) ④自然栽培共同組合等先進地(千葉県)への視察(9月)と視察報告会(10月)の開催 ⑤「無農薬・無肥料・自然栽培」座談会の開催(3月) ●1ターン希望者支援 ... 空家探しと借用交渉、移住後の交流 (H27年:3家族移住) ●他の団体等との交流 ... わくわく組合結成・運営、市主催交流会参加、各種催しの相互応援・協力 						
主な活動の流れ						
事業 内容	栽培・加工	・落花生、大豆等の栽培	・収穫、加工、販売	・味噌づくり会(2/27)		
	出店等		・歌舞伎(10/18) ・MAIKA祭出店(11/3)	・元旦マラソン		
	主催イベント等	・運営MTG(年間10回)	・自然栽培視察会(9/21-22) ・視察報告会(10/3)	・自然栽培座談会 (3/26-27)		
	参加・協賛	・地区会長会報告(8/4)	・映画上映会(11/15)			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ●「茹で落花生」の加工数量を増やすため、今年度は他の2地区で栽培をお願いし栽培量を増やしたが、まだまだ不足状態であったことから、収穫時期の調整や稼働の拡大を図りながら、さらに収穫量の拡大を目指す。 ●ほとんど手作業または小型機械作業だったが、少しでも作業効率を上げるため管理機とトラクターを購入した。 ●千葉県への「自然栽培視察会」で栽培者の話や耕作地を見学した貴重な体験を、地元の方々への報告会を開催したところ約30名の参加をいただき、今後さらにレベルの高い講習会等を開催することとなった。 ひるかわ元気村が目指す “人に優しい 地球に優しい 無農薬・自然栽培の里 ひるかわ” 推進の起点としたい。 また、視察会等を通して「ひるかわ元気村」の活動に3家族が参加・協力してもらえるようになった。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方々に「無農薬・無肥料・自然栽培」の考え方を理解いただき、少しでも実践する方を拡大しながら、“人に優しい 地球に優しい 無農薬・自然栽培の里 ひるかわ”として、地域自体のイメージアップを図り、栽培した野菜・加工品等の付加価値を高めることで、生産者の利益につながる環境を整える。 ●茹で落花生のほか自家製味噌等加工品の主原料となる食材の地元調達を可能にするため、生産協力者や耕作地(遊休地活用)の拡大を図る。 ●加工作業及び保管施設の確保(衛生・販売許可等の申請)と最低限の機械等を購入し稼働効率を上げる。 ●遊休地を活用した農業体験希望者の受入れや空家等の確保による1ターン者の拡大を推進する。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

【落花生の栽培と「茹で落花生」づくり】



■マルチ張りと苗植え作業 (5月～6月) ”今回も無農薬・堆肥散布のみで栽培しました”



■収穫開始(10月～11月) ※奥渡・柏ヶ根地区で栽培増産、稼動も拡大！！



■「茹で落花生」加工作業 ”水洗い～茹で～選別～パッケージ作業まで、ほぼ手作業！！

※今年も予約数に足らず

【販売イベント等への出店】



■「茹で落花生」を中心に「歌舞伎会場」「MAIKA祭」で販売

■元旦マラソンでしるこを提供

【千葉県で自然栽培視察・研修会】



■成田自然栽培共同組合を視察(9/21～22) 「土の違いや雑草の少なさに驚きました。」

●10月4日「視察報告会」開催 ●28年3月26日「自然栽培座談会」開催

■味噌づくり会 2月27日



◎念願の管理機・トラクターを中古で購入



平成27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なかつがわしほうさいしみんかいぎ		地域名	全市	地区	
	中津川市防災市民会議		会員数	45	人	
ふりがな 代表者名	かとうよしはる		延べ 参加人数 内(会員数)	140 人(20 人)		
	加藤吉晴					
事業名	地域防災立体模型による市民防災 安全力推進事業					
総事業費 内(補助金額)	166,495 円	(160,000 円)	実施期間	平成 27 年 6 月 1 日から 平成 28 年 2 月 1 日まで		
事業 分類	番号	1		番号	2	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業 内容	事業の目的					
	全国でも例を見ない、小地域の防災立体模型を使った防災教育。最近の実例である、広島水害や南木曾水害を振り返るまでもなく自然災害に対する居住地区の脆弱性の理解は、命の安全確保と直接結びつく、重要課題となっています。					
	具体的な活動内容					
	落合12号区をモデル地区に、小地域の防災立体模型をその地域に住む人々の協力も得て作製し、そこに居住する住民自身が自宅周辺の地形を模型から理解すること、ハザードマップにのる土砂災害の危険度を具体的に理解すること、それが各自の避難行動につなげる防災啓発となるよう、各地の災害現場の事例を含め、指導しました。					
	主な活動の流れ					
			準備	作製	作製	教育
		4月	6月	8月	10月	12月 2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	製作にあたっては、市民会議会員の他、東海防災青年塾の塾生に加え、地域の住民やPTAのお母さん方の協力もあって、たくさんの方が参加したことも、大きな成果であった。できあがったものは、自分たちの居住する地域だけに、説明時には確かな手応えがあったことは言うまでもない。落合12号区の防災訓練で使用した他、班の全戸が地すべり危険地域の中にある3班常会で、模型を供覧しながら再度防災指導して、災害時には各自で早めの避難行動が決断できるよう啓発しました。					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
市民会議で立ち上げたこのプロジェクトを、市内他地区に今後いかに展開するかは、協働する市防災安全課の仕事となる。落合12号区だけで、終わらせないためにも、市担当課は具体的なパイロット役を果たすべきであろう。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



写真1

2015年8月30日 落合12号区
防災訓練にて研修実施

写真2 防災立体模型 全体図



中津川市「落合12号区防災立体模型」
標高は木曾川の288Mから、梵天山裾の504Mまで

マップピン説明

緑ピンは JR中央線(落合川駅は黄色)

赤ピンは 道路(大は国道19号、小は市道)

黄ピンは ハザードマップ上の地すべり危険地域



写真3

2016年1月31日 落合12号区
3班常会にて研修実施

平成 27 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいちくけいのうぶんだんたいいれんらくきょうぎかい		地域名	落合	地区	
	落合地区芸能文化団体連絡協議会		会員数	200 人		
ふりがな 代表者名	しまざき よういち		延べ 参加人数 内(会員数)	人(人)		
	島 崎 洋 一			①総会 40名 ②原稿執筆者63名 ③編集・入力・校正作業 22名 ④編集会議 12名		
事業名	伝統芸能保存・継承のための記録誌作成事業					
総事業費 内(補助金額)	304,952 円 (300,000 円)		実施期間	平成 27 年 8 月 1 日から 平成 28 年 3 月 25 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
<p>わが国において、古来、地域に伝承されてきた民族の遺産ともいえる固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の伝統芸能を正しく後世に残すことが今を生きる私たちの責務であるとの考えに立って、これらの継承のための諸活動に取り組むことを目的とします。</p> <p>各地域の失われつつあり、かつ、記録の少ない地域固有の伝統芸能等（祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等）を冊子に編集し後世に伝えます。</p>						
具体的な活動内容						
<p>地域に伝えられる伝統文化・伝統芸能を継承して行くということは、この人口減少社会が進む中でかなりの努力と困難さを要すると思いますが、貴重な文化財を次代に残すという観点でたいへん重要です。そして、記録誌を編集し、地域のみならずへ配布することを通して地域に誇りと愛着をもたらし、それが地域共同体に果たす役割も大きいと考えています。文化連所属団体・関係者に原稿を依頼し、回収作業、入力作業、写真等資料の挿入、校正作業を行い、編集・印刷・発行します。</p>						
主な活動の流れ						
事 業 内 容			口所属団体・関係者原稿依頼回収校正 3/25発行			
	6/5総会 がんばサポ 申請決定	7/17補助申請 7/31審査会	10/29①編集委員会	2/5②編集委員会 3/15③編集委員会		
	6月	7月	8月	10月	2月	3月
具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）						
<p>①落合の郷土芸能を担ってきた関係者の生の証言を聞くことができた。</p> <p>②当初の編集方針があいまいで進めたため寄稿していただいた原稿を章立てすることに苦労した。</p> <p>③時代を追った章立てとした。編集を進める中で、交流と発表の場として公会堂と公民館の存在が大きいことが分かった。【つまり人の集まる場所があることが重要】</p> <p>④どの団体も後継者不足である現状が原稿からにじみ出していた。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>①郷土芸能の保存継承のため資料の保存・整理が必要・・・データで保存が重要</p> <p>②芸能は音であり、踊りであるため写真、文書では限界がある・・・ビデオで保存が必要</p> <p>③郷土芸能の保存継承の課題はどの地区でも同様・・・</p> <p style="text-align: center;">・学校との連携が必要・地域での取り組みが必要</p> <p>④落合地区だけでなく中津川市として郷土芸能の掘り起し、保存継承が必要</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

10月29日第1回編集会議

依頼した原稿の確認、入力作業、資料の収集などスケジュール確認



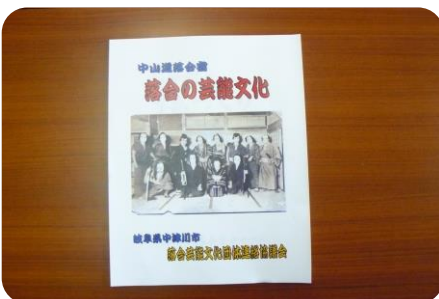
2月5日第2回編集会議

回収原稿の確認・校正、入力作業、資料の収集などスケジュール確認
表紙・目次の確定



3月15日第3回編集会議

原稿の確認・入力校正作業

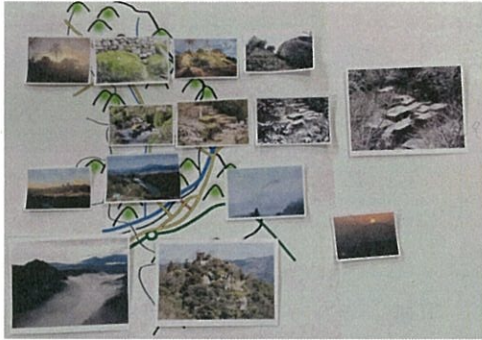


平成 27 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎじょうせきをせかいにひろめるかい		地域名	苗木		地区					
	苗木城跡を世界に広める会		会員数	10		人					
ふりがな 代表者名	みずの なおや		延べ 参加人数 内(会員数)	109 人(10 人)							
	水野直也										
事業名	苗木城跡の良さを知って貰う										
総事業費 内(補助金額)	62,094 円 (50,000 円)		実施期間	平成 27 年 6 月 1 日から 平成 28 年 2 月 14 日まで							
事業 分類	番号			活動 分野	番号						
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	④観光・交流						
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業										
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業											
事業の目的											
苗木城跡を世界に広めると同時に地元の人達に苗木城跡の良さを理解して貰う活動。											
具体的な活動内容											
①苗木城跡のマップ作成(写真を入れて、城内のポイント・外から見た苗木城跡の撮影ポイント等)A3用紙両面で作成。 ②HPを立上げて維持継続(写真で苗木城跡の四季を表現、地元の出来事紹介等)											
事業 内容	例会	2	2	1	2	1	2	2	1	2	
	懇親会					1			1		
	撮影	6	6	7	12	9	18	14	14	2	
	メール	86	87	63	41	68	81	53	110	80	55
	4月	6月		8月		10月		12月		2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)											
①マップ作成では、目的ははっきりと、していたが、3D風、イラスト入れはアイデアから上手いかず、構成に苦労、市から図面提供受ける中で進行した。PC編集で思い掛けない良いアイデア出る事、又メンバーの奥さんに題字書いて貰い完成。毎月決めた日時に例会(1・3週の火曜)の中でマップが出来た。区長会の協力により苗木全戸に回覧により、見て頂いた。地元の区回覧は、コメント書き加え見て頂いた。②HPは見せ方、項目の分類メニューに苦労した、写真撮影により、現在800枚を超える数が掲示されている、苗木区民との協働事業も多く展開されている。											
今後の展開(自立に向けた活動)											
①HPは維持継続 ②写真展開によるオーダー増加・利益も出す ③苗木区民との協働事業											

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



例会(マップの構成検討)



例会風景



岐阜新聞の取材受ける



城山レディースとの懇親会



マップ完成の記念写真



マップ(A3両面)



六斎市の出店

掲載枚数	2015		2016			
	7月10日	9月8日	11月11日	12月20日	2016 1月26日	2月10日
※ 新着情報	2	3		1		19
リニアと苗木城	6	6		10		11
夜明けの苗木城	8	9		25		26
苗木城跡の石垣と岩	44	49		92		116
夕暮の苗木城	28	29		42		53
霧の苗木城	21	32		67		80
春の苗木城	40	40		42		43
夏の苗木城	14	40		44		47
秋の苗木城	4	5		92		92
冬の苗木城	27	27		28		93
苗木城跡のお手洗	6	6		6		6
隣接する桜公園	31	31		31		31
中津川市観光スポット	54	85		108		168
恵那山の見入る風景	0	9		30		40
検索写真	265	371	511	618		825
〇〇〇苗木城跡を世界こ	253	271		443	508	491

この日で終了
10月末から毎日更新中

HP掲載枚数と枚数推移・検索枚数

平成 27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎ しroyama れでいーす		地域名		苗木		地区		
	なえぎ城山レディース		会員数		10人で発足 現在→		25人		
ふりがな 代表者名	かとう かなこ		延べ 参加人数 内(会員数)	2050 人(81 人)					
	加藤かな子			内訳(月日と動員数: ・6/7 1400 ・7/5 100 ・8/9 80 ・9/12 150 ・10/3 100 ・11/3 100 ・11/22 120)					
事業名	苗木城跡おもてなしマルシェ								
総事業費 内(補助金額)	75,000 円 (50,000 円)		実施期間		平成 27 年 6 月 1 日から 平成 28 年 2 月 29 日まで				
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号		④		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業 内 容	事業の目的								
	<p>天空の城ブームで、苗木城跡を訪れる観光バス等が増加していますが、中にはご高齢の方、足に不安のある方の休憩場所(居場所)がない状況、そこで、お茶の一杯も「おもてなし」をしたらどうか？そして地元朝採りの季節の新鮮野菜、特産品、地元産手作りパン、手芸品などで、旅の目的の一つ「買う楽しみ」を味わっていただけたらどうか？、また会話を楽しみながらの情報交換、そして苗木城跡をアピールさせていただけるような「おもてなしマルシェ」を実現したい。</p>								
	具体的な活動内容								
	<p>1. 来客が多く予想される日に「おもてなしマルシェ」を開催。 例えば、①遠山資料館無料ディ、②JRさわやかウオーキング、③名古屋市民交流会、④苗木城址案内ボランティア予定表から観光バスの台数の多い日など選択した。</p> <p>2. 輪の拡大活動 (①湯舟沢レディースとの研修会、②苗木城址を世界に広める会との意見交換交流会、③他地区の情報の収集、③同志やサポーターの探索、④講演「苗木城跡を活かしたまちづくり」での勉強会など)</p>								
	主な活動の流れ								
	おもてなしマルシェ開催		6/7	7/5	8/5	9/12	10/3	11/3	11/22
	マルシェ前日打合せ		6/6	7/3	8/6	9/10	10/1	11/1	11/20
	研修会・交流会他				8/10		10/20		1/31 2/12
			4月	6月	8月	10月	12月	2月	
	具体的な活動成果(失敗や苦勞したこともご記入ください。)								
<p>・苗木特産品をPRできたが、なえぎに特産品が少なく商品を揃える事に苦勞した。</p> <p>・事業の目的「おもてなし」は1年目なりに達成できた。</p> <p>月1回の開催で販売高としては満足いく額ではなかったが今年度は天候にも恵まれて予定日に決行できたのは良かった。</p> <p>じさんサポーターができたことは良かった。</p> <p>H27/8岐阜新聞に紹介記事を掲載していただきPRができた。</p>									
今後の展開(自立に向けた活動)									
<p>・回数と日程が不定期だったので定期的に行えるようにしたい。</p> <p>・苗木城跡を題材にした特産品・土産物を発案したい。</p> <p>・少人数でもできる活動体制にして回数を増やす。</p> <p>・なえぎ地域まちづくり推進協議会の中で協力</p>									

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



第一回 おもてなしマルシェ



遠山資料館無料デー



販売品も多くなりました



準備風景



'8/30岐阜新聞掲載記事



第七回 おもてなしマルシェ

平成 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	あぶくたつたのかい		地域名	坂本		地区	
	あぶくたつたの会		会員数	7		人	
ふりがな 代表者名	たなか こういち		延べ 参加人数 内(会員数)	2700 人(200 人)			
	田中 孝一			めぐみ保育園 : 毎月2回 延べ1,000名 西保育園 : 毎月2回 延べ1,000名 坂本さくら保育園 : 毎月1回 700名			
事業名	保育園、幼稚園における集団読み聞かせの実施		実施期間	平成	27年	6月	1日から
総事業費 内(補助金額)	(53,279 円 50,000 円)			平成	28年	3月	31日まで
事業 分類	番号	①		活動分野	番号 ⑨		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的							
<p>保育園、幼稚園等において絵本の集団読み聞かせを主体に行うことにより、幼年期における健全な発育を図る。集団での読み聞かせは「共に居る」園児が共感し、共同の態度を芽生えさせることであり、人、動物、植物、物を大切に作る心豊かな人間に育てる一助となることを目的とする。</p>							
具体的な活動内容							
<p>・めぐみ保育園 : 2,3歳児用プログラム 4,5歳児プログラムにより各月1回読み聞かせを実施 ・西保育園 : 2,3歳児プログラム 4,5歳児プログラムにより各月1回読み聞かせを実施 ・坂本さくら保育園 : 1,2,3歳児プログラムにより各月1回読み聞かせを実施</p>							
主な活動の流れ							
事業 内容	毎月第一日曜日・・・当月絵本の読み合わせ、翌月読み聞かせする絵本の選定(中津川図書)						
	各月・・・2,3歳児用プログラム 4,5歳児用プログラムにより保育園で読み聞かせ会を開催 (1回あたり園児40名～60名)						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)							
<p>保育園の先生方からは、園児が読み聞かせの会を楽しみに待っているとの評価を得ております。園児も会を重ねる毎に聞く力をつけて絵本の内容を理解し生き生きとして話を聞いてくれます。また時々、予期せぬ反応や表情を見せてくれ、この反応が大きければ大きいほどメンバー自身の充実感や達成感が大きく感じられます。中津川市図書館、恵那市図書館の協力を得てプログラムを組んでおりますが、年齢、理解力等を勘案して本を選 定する作業が難しく、更なるノウハウの蓄積が必要と思われまます。</p>							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<p>絵本の読み聞かせの会がマンネリにならないように、来期はリコーダー演奏者(国立音大講師)とコラボを計画しており、新しい形の読み聞かせスタイルを模索してゆくつもりです。また、人的余裕ができれば絵本の読み聞かせする機会を増やし、一人でも多くの幼児が絵本とふれ合えるように活動して行くつもりです。</p>							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



タブレットを使った読み聞かせ風景(めぐみ保育園) タブレットとエプロンシアターを組み合わせた読み聞かせ風景(めぐみ保育園)



タブレットからの動画を見ながら歌遊び「かみなりどんがやってきた」
(めぐみ保育園2, 3歳児)



大型絵本を使った読み聞かせ風景(坂本さくら保育園)



タブレットからの動画を見ながら歌遊び「バスにのって」
(坂本さくら保育園2, 3歳児)

館)

ふりがな 団体名	ぼうさいなかつがわかい 防災士なかつがわ会		地域名	津川市全地区					
			会員数	73人					
ふりがな 代表者名	しまだ ちとし 島田千寿		延べ 参加人数 内(会員数)	160人(160人)					
事業名	NPO法人化事業			法人化プロジェクト:21人(21人) 役員会:78人(78人) 臨時総会:61人(61人)					
総事業費 内(補助金額)	80,758 円 (50,000 円)		実施期間	平成27年 8月 1日から 平成28年 2月17日まで					
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号		① ② ⑨		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業の目的									
<p>● 「必ず来る災害」に備え防災士、行政および社会福祉協議会等の防災に関わる組織が連携した対応を行い、平時に防災意識の啓発や具体的な施策を実施することが必要です。</p> <p>● その防災対策の啓発は継続することが最も大切で、そのためにNPO法人化し「責任ある認知された組織」として啓発を続けていく。</p>									
具体的な活動内容									
<p>1. 定款・事業・組織(案)の作成→役員会で審議/会員意見の聞き取り</p> <p>2. 県へ審査内容や定款の確認</p> <p>3. 臨時総会</p> <p>4. 審査申請提出→承認→法人登録→総会</p>									
主な活動の流れ									
事業 内容	▲27年度総会	▲がんサポ承認			▲臨時総会	▲申請	▲承認		
	▲法人化プロジェクト発足	← 定款・事業・組織等の検討 →					▲登記		
							▲総会		
	4月	8月	10月	12月	2月	4月			
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)									
<p><成果> 会員や役員からの意見をまとめ客観的な視点で活動できる体制が出来た。また、「防災」から「安全安心なまちづくり」に向けての方向付けが出来、会員への意識合せも行った。</p> <p><苦勞> 昨年に比較し倍増した勉強会や学転倒防止対策工事の要望で、数名の会員には連日の活動で大きな負担となってしまった。</p> <p><課題> 活動日の要望は平日が圧倒的に多く参加できる会員が限定されている。</p>									
今後の展開 (自立に向けた活動)									
<p>● 中津川市唯一の防災士の集まりとして、自らも防災力の研鑽・向上を図りながら、行政に対する提案やその実施者として連携・協調そして継続して防災力の向上に向けて取組んでいく。</p> <p>● 個人のやりたいことや、ただ、目立つことを実施するのではなく、引き続き「地域の安全・安心」「住民のため」と言う大原則を肅々と実施し、理解者を増やしていく。</p>									

活動は打ち合わせや会議が主体で画像は特にありませんので、会のPRをさせていただきます。

「防災士なかつがわ会」からの提案

自分の命は自分で守る。

自分の子供は自分で守る／地域の子供は地域で守る

私たちは「必ず来る災害」に備え、行政や社協と協働し
地域防災力の強化・人材育成を図るために活動しています。

▲具体的な活動

会員73名で、防災訓練への参加啓発チラシの発行、防災運動会(防災体験フェスティバル)、防災士育成、防災勉強会などの実施や支援の他、行政や社協と協働しての出前講座、高齢者宅への家具転倒防止対策、防災施策の提言・提案など「災害に強いまちづくり」の推進活動を実施中です。



防災運動会(防災体験フェスティバル)



防災紙芝居
高齢者への防災啓発



岩手県大槌町への
災害ボランティア活動

「防災紙芝居」で啓発活動をしませんか。

防災だけでなく、交通安全、振込詐欺、火災予防等々そして、
それが「まちづくり」につながります。



平成27年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	うたとだんすでもりあがるなかつがわじっこういんかい		地域名	地区				
	歌とダンスで盛り上がる中津川実行委員会		会員数	15 人				
ふりがな 代表者名	いぐち たかひろ		延べ 参加人数 内(会員数)	173 人(15 人)				
	井口 貴博							
事業名	歌とダンスで盛り上がる中津川 ～新しい時代を感じる歌とダンスを中津川に！～		実施期間	平成 27 年 8 月 1 日から 平成 28 年 3 月 25 日まで				
総事業費 内(補助金額)	円 (50,000 円)							
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号		⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的							
	中津川市の一体感を育み、郷土愛を深めていただく							
	具体的な活動内容							
	中津川市に因んだ歌とダンスを作成するため、4回の会議を開催しました。まずこの活動を多くの広める事が必要という事と運営資金がないため、チラシを作成し、本企画に賛同、協力していただけるサポートメンバーを募集した。尚、サポートメンバーには、1口500円の協賛をいただいた。今後、サポートメンバーには、歌詞のフレーズ募集、披露に至るまでの協力要請を行い、活動の進捗情報の提供、歌ができた際には、CDの配布を行う。							
	主な活動の流れ							
				会議の開催	→	サポートメンバー募集チラシ作成	→	サポートメンバー チラシ配布、募集
	4月	6月	8月	10月	12月	2月		
	具体的な活動成果（失敗や苦労したこともご記入ください。）							
	・中津川全域の構成メンバーを募った事で、中津川全域に活動を広める事ができた。							
	・4回の会議を開催する事で、本企画を広めるためのサポートメンバー募集チラシを作成し、配布募集する事ができ158名のサポートメンバーを募集する事ができた。							
今後の展開(自立に向けた活動)								
・補助金、協賛金での資金集め。(フェイスブック、ホームページを作成する。)								
・歌詞のフレーズ募集し歌とダンスを作成する。								
・歌とダンスの披露及び各保育園、幼稚園への配布。								
・各地区まつり、イベントでのお披露目。								
・将来的には、アレンジをしながら子どもから大人までが携わる歌とダンスを目指す。								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



チラシ作成会議の状況写真

歌とダンス
で盛り上がる中津川!

中津川の想いのつまった歌を一緒に作ろう!

何をやるのか

- 歌詞となるキーワードを募集します。
- キーワードをもとに絵本作家である村上さん、プロ作曲家であるたにぞうさんらの手により、中津川の歌を作ります。

将来像 中津川の子供から大人までが知っている歌・踊りを作り、それを通して中津川が一体と感じられることを目指します。

プロフィール紹介

谷口國博さん (たにぞう)
東京都の保育園に5年間勤務した後、フリーの創作あそび作家になる。子育て雑誌、新聞、保育雑誌にあそびやエッセイなど執筆中。OFFICE TANIZOU 代表
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」楽曲提供
CM「リカランド」歌い付け
CM「キユーピー」歌い付け
東映映画「王子と魔法使い」歌い付け
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」音楽提供
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」歌い付け
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」歌い付け
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」歌い付け
NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」歌い付け

村上康成さん (むらかみやすなり)
1955年岐阜生まれ。創作絵本をはじめ、イラストレーション・エッセイ・タブロー、オリジナルグッズ等、独自の世界を幅広く展開し、年齢を超えて多くの人々に愛されています。こと毎朝への情熱は、自動詞に即める「みずむすび」たる所以であり、なによりその生き物たちの豊つ自然に身をまかすことをこよなく愛する自然派アーティストである。絵本の持つ魅力、絵本表現の可能性を、デビュー作「ピンク、ベッコん」(徳間書店)以来、フレキシブルに探し続けている。伊豆高原には村上康成美術館、石垣島には村上康成絵本ギャラリーがある。

【受賞作品】
「ピンク、ベッコん」(徳間書店) 第1回「フナタシ」児童絵本コンテストにて最優秀賞
「なつかしい文・絵本展」(ひかり舎) 2003年第8回日本絵本大賞
「石のきもち」(ひかり舎) 2012年第3回ようちん絵本大賞
「999ひまわりのおひかり」(文・村上康成、ひかり舎) 2013年第4回ようちん絵本大賞
「あそびなるといっしょ」(文・村上康成、ひかり舎) 2013年第4回ようちん絵本大賞

私たちと一緒に活動しませんか？歌とダンスで盛り上がる中津川のポスターデザインが募集！

お名前	住所：〒	—
	TEL:	Email:

がんばる地域サポート事業の協賛会にて作成しています。

サポートメンバー募集チラシ